



国際ロータリー 第2510地区 日本

The Rotary Club of Otaru South. District No.2510

小樽南ロータリークラブ会報

Club Homepage URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

●例会場/ニュー三幸 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 ☎0134-33-3500



●本日5月12日(金)のプログラム

◎夜間例会 おたる屋台村 ろまん横丁

●来週5月19日(金)のプログラム

◎「自治体としての役割」
スピーカー:佐藤 聖一郎 氏(仁木町長)

●再来週5月26日(金)のプログラム

◎岩崎 俊一 氏(第一管区海上保安本部長)

2016-17年度 地区目標

- 地域と共に活動
- 地域組織の活性化
- 地域と共に

●2015-2016年度 IRテーマ



Rotary
Serving
Humanity
人類に奉仕する
ロータリー
2016-17年度IR会章 ジョン・ジャーム

上野年度信条

脚下照顧
きやつかしようこ
足下を照らして顧り見る
(自分の足下を見る)

39

2017年5月12日(金)発行
通巻 第2759号

1960年創立
昭和35年2月5日

●第38回例会報告 4月28日(金) 「歴史研の活動」スピーカー:石井 伸和 氏(石井印刷株式会社 代表取締役・小樽RC)

●司会/柴田副会長

●ロータリソング 「それこそロータリー」

●ゲスト・ビジターの紹介

石井 伸和 氏 (石井印刷株式会社 代表取締役・小樽RC)

松永 吉弘 氏 (小樽RC)

●会長挨拶 上野会長

○本日の卓話、スピーカー石井 伸和様、ようこそお出でいただきました。後ほどのスピーチ大変楽しみにしております。小樽RCからのビジター松永様、ご参会いただき有難うございます。

●幹事報告 三栖幹事

○来週5月5日(金)は祝日休会となり、12日(金)の例会は 今月7日にオープンしました、レンガ横丁向かいの「ろまん横丁」での移動夜間例会となります。新名所での例会 皆様の参加をお待ち致しております。

●委員会・同好会報告

◎会員親睦委員会 斉藤委員長

○4/22日(土)に「夫人の集い」を、小樽出身で新進気鋭のピアニスト 法本あゆみさんのソロコンサートを鑑賞。その後小樽旧板谷邸「海宝楼」で、マスコミ等で話題の「小樽地鶏御膳」をいただき、楽しいひとときを過ごすことができました。

◎野球同好会 紺谷会員

○明日4月29日 午前7:30分より、恒例の「朝練」が開始さ

- れます。ご興味のある方は、どうぞ観戦に来ていただき、応援エールを送っていただければ幸甚です。
- よろしくお願ひ致します。

◎「愛耐会」開催のお知らせ 坂口会員

○しばらく休会しておりました「愛耐会」を、春宵一刻値千金の好季節を迎え久々の「美酒」に酔いしれたく、5/17(水) 午後6時より「きらく」にて開催いたします。詳細は 各会員のメールボックスに入れておきましたので、出・欠の有無を5月10日迄に FAX (ファックス番号 22-2213) にてご返信下さい。

●出席委員会

・平成29年4月28日

● 会員総数 66名 本日の欠席者 10名
● 阿部、東、小笠原、桂、佐藤(友)、野村、高木(成)、廣部、宮川(英)、松尾

・平成29年4月22日(土)IM

● 会員総数	66名	出席摘要免除者	12名
● 病欠者数	名	出席計算員数	名
● ホーム欠席者数	名	メーキャップ	名
● 純欠席者数	名	確定出席率	100%

●メーキャップ

● 4/11 加藤 (小樽RC)

●まごころ箱 いつも有難うございます!

工藤 会員 会員誕生日。遅ればせながら誕生日いただきました有難うございます。

山村 会員 夫人誕生日。綺麗なお花有難うございました。

斎田 会員 夫人誕生日。 佐藤(甚) 会員 夫人誕生日。

大倉 会員 夫人誕生日。 斎藤 会員 夫人誕生日。

新倉 会員 結婚祝。 白石 会員 結婚祝。

大黒屋 会員 会員誕生日。何年前に誕生したかも? わすれました。

●まごころ箱入金集計額 (H28.7.8~H29.4.28)

4月28日分 18,000円 合計 902,000円

30分でわかる
小樽歴史講座

小樽の歴史は世界に向かって開かれ、 未来に向かって紡がれている

NPO法人歴史文化研究所副代表理事 石井 伸和

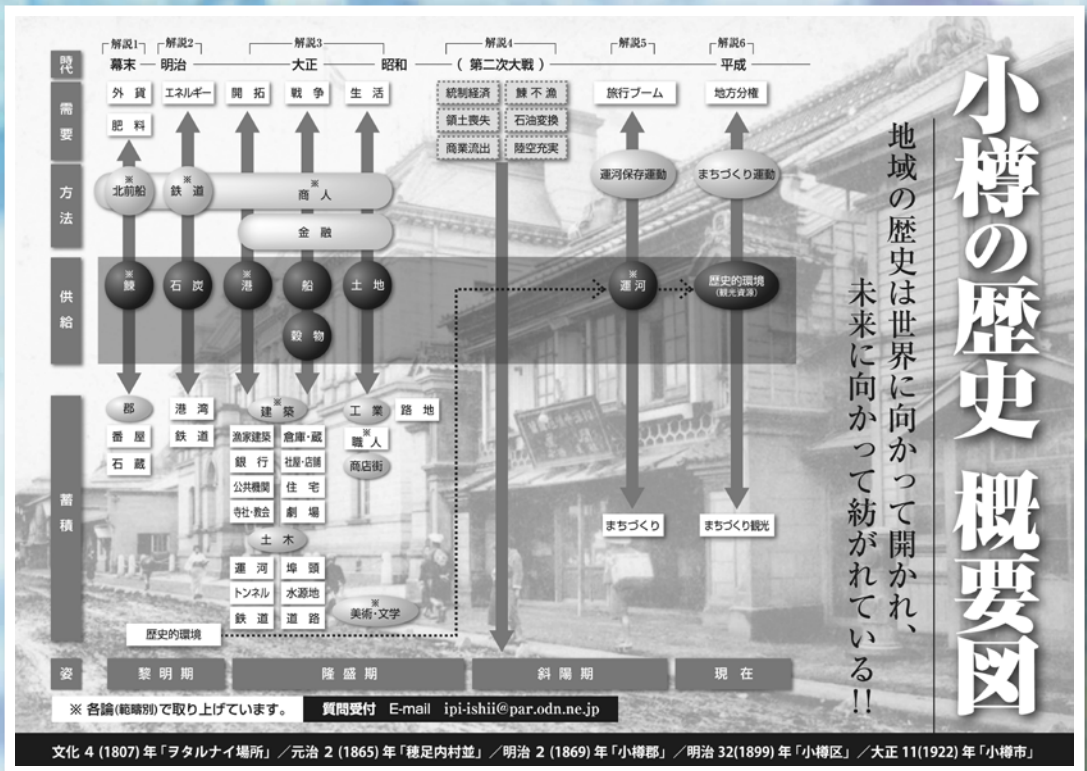
はじめに フローチャートは、私たちが個別に教えられてきた小樽の様々な歴史を、総合的に俯瞰した需要と供給の関係図で、背景と由来が見えるようになっています。
小樽の歴史をフォルダーごとに記憶させるハードディスクとご理解ください。



皆さん、こんにちはと云うよりも、いつもお世話になっております。

石井伸和61歳でございます。「還暦」過ぎまして引退したいという気持ちもありますが、まだ現役で頑張っております。

今日は、実に「多様性」があって、そして豊かな「寛大性」を持つ小樽の街について、短い時間の中ではありますが、お話をさせていただきます。



地域の歴史は世界に向かって開かれ、
未来に向かって紡がれている!!

小樽の歴史概要図

■解説1 (幕末～明治初期)

- 北海道および小樽が日本史に登場する背景
「蒸気船たった4杯で夜も眠れず」緑茶の高級品「喜撰」
「開国し近代要素を急いで吸収」～富国強兵・殖産興業政策～
江戸時代の探検家の報告から北海道本府（政治・行政）は札幌、物流港は小樽
- 外貨がほしい 肥料がほしい
外貨を獲得して近代化を急ごう→練粕→積丹半島近海に群衆→小樽に注目
綿花輸出→綿花栽培促進→肥料→練粕→北前船で大阪 全国の農産地へ
- 練北上と追鯨
鯨は北上するのを商機として商人も北上→松前～岩内～小樽へ
場所請負人：岡田弥三右衛門（ヲタルナイ場所）
西川伝右衛門（タカシマ場所）
（練粕などの資源を運ぶ方法→北前船）
北前船は売る人買う人、そして寄港地の基幹産業づくりに貢献
- 蓄積：番屋、蔵

■解説2 (明治初期～明治中期)

- エネルギーがほしい→幌内炭→運搬→手宮線（明治13～15）
- 蓄積：港湾、鉄道

■解説3 (明治中期～昭和初期) 小樽黄金時代

- 開拓需要「領有し統治す」→お雇い外国人、移民奨励（57年間に227万人）
お雇い外国人：ケブロン（親分）、ライマン（地質 幌内炭鉱発見）、
クロフォード（土木技師 幌内鉄道敷設） 12年間で78人が関わった
「開拓者精神」「フロンティアスピリット」「自助の精神」

- 戦争特需→日清 (M27) 日露 (M37) 第一次大戦 (T3) →小豆・金属・缶詰
- 生活需要→T9年小樽区+高島・塩谷・朝里124,758人 (3末120,037) 衣食住
- 商人→数十億～一兆円超商人百人以上
「地均近江 種蒔松前 肥料加賀 刈取越後」
- 銀行街→最盛期には20数行 (M期24行、T期17行、S期14行)
- 港湾→M41北防波堤→鷹井勇、伊藤長右衛門、青木政徳など
- 土地→①木村園吉②山田吉兵衛③早川両三④榎本武憲⑤北垣確
- 蓄積：港湾、道路、銀行、倉庫、商店、家屋

■解説4 (第二次大戦前後)

経済統制により経済活動の低下、領土喪失による市場制限、商業機能の札幌への流出、鯨の不漁と大豆粕、石炭の石油への転換、海運率の低下など

■解説5 (戦後～昭和後期)

- 旅行ブーム (S50年代～)
- 運河保存運動 (S48～S59)
- まちづくり運動 (S50～H27 80以上)

■解説6 (平成)

- 地方分権→中央集権から地方分権の過渡期
- 歴史的環境が小樽観光資源化（歴史的建造物再利用）
- 小樽観光→まちづくり観光→ビジョン観光へ